

高温下溶接部での 超音波探傷試験

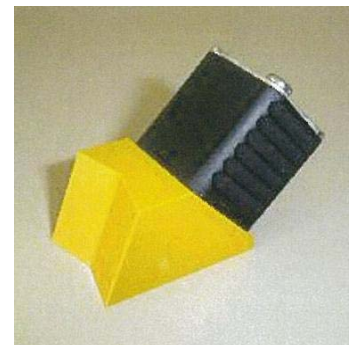


常温の溶接部では広く行われている斜角探傷試験ですが、高温下では一変して超音波機材等の耐久性の問題、あるいは超音波特性の変化により施行が困難になります。一般には、通常探触子ではくさび音速等の差により、きずエコー位置が正確に把握出来ないとされています。

弊社では、高温用機材を使用、条件を補正することにより高温下での斜角探傷試験を可能としました。

特長

- 200℃までの探傷が可能
- 稼働中の検査が可能



高温斜角探触子

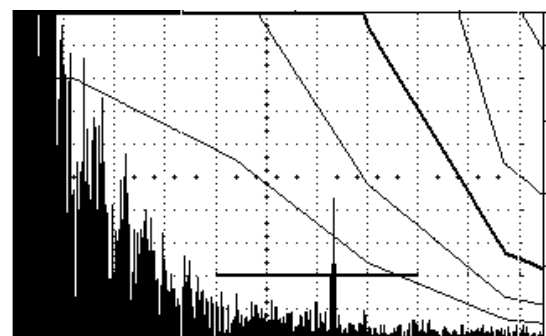
周波数：4MHz

屈折角：45°

振動子サイズ：10×13 mm

適用

- 検査対象：
構造物、圧力容器
- 対象材質：鋼
- 対象板厚：50 mm程度まで



高温下探傷波形